

脊髄損傷(急性期)、急性呼吸窮迫症候群を対象とした製品を開発しているスペインの臨床段階にある再生医療ベンチャーHistocell, S.L.への出資を実行

Cell Innovation Partners Limited(以下、「CIP」)は Cell Innovation Partners, L.P.を通じ細胞医薬品の開発を行う Histocell, S.L.(以下、「当社」)(本社:ビルバオ、スペイン、CEO: Julio Font)へ、パイプラインの臨床開発を目的とした総額 3 百万ユーロの調達において、1 百万ユーロの投資を行いました。

当社が開発を行っている HC016 は健常人ドナーの脂肪由来の間葉系幹細胞(以下、「MSCs」)で、ドナーから採取した細胞を単純に培養するだけでなく、製造プロセスで特殊な処理を加えることにより、従来型の MSCs より高い治療効果を発揮することが期待される細胞医薬品です。

現在、当社はスペイン 3 位の製薬会社 Ferrer 社と共同で、HC016 の脊髄損傷(急性期)に対する安全性・有効性の確認を目的として、スペインで Phase 1/2 を行っています。また当社は、HC016 の急性呼吸窮迫症候群(以下、「ARDS」)に対するヒト臨床試験に向けた準備を行っています。

脊髄損傷は、交通事故やスポーツ事故などで脊髄のなかを通る神経線維が損傷し、対麻痺や四肢麻痺が引き起こされる疾患です。日本では年間約 5,000 人程度の患者が発生していると推定されています。現在有効な治療法はなく、リハビリテーションを中心とした治療が行われていますが、社会生活が困難な状況が継続する重篤な疾患です。

ARDS は、重症肺炎や敗血症などの患者に発症し、肺に液体成分がたまり、肺でガス交換を行えなくなり、呼吸困難に陥る症状です。日本では年間約 10,000 人程度の患者が発生していると推定されています。現在有効な医薬品はなく、人工呼吸管理による対処療法が行われていますが、発症後の死亡率は 30~60%とされる重篤な症状です。

また HC016 は上記以外の疾患でも効果が期待されており、当社は重症下肢虚血を対象とした HC016 の研究も行っています。

CIP は今後日本での事業パートナー開拓などの事業開発支援を通じ当社の成長を支援するとともに、引き続き再生医療ベンチャーへの資金供給を通じ再生医療の実用化に貢献してまいります。

Histocell, S.L.の概要:

設立: 2004 年
事業内容: 他家・細胞医薬品 HC016 の開発
本社所在地: ビルバオ、スペイン
CEO: Dr. Julio Font
URL: <http://www.histocell.com>

Histocell 社の脊髄損傷(急性期)を対象とした Phase 1/2 治験計画概要:

URL: <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/record/NCT02917291>

問い合わせ先:

Cell Innovation Partners Limited 担当 西村 和将
メール: contact@cell-ip.com
URL: <http://www.cell-ip.com/>